

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 12 月 2 日 (2021.12.2)

【公表番号】特表 2019-530772 (P2019-530772A)

【公表日】令和 1 年 10 月 24 日 (2019.10.24)

【年通号数】公開・登録公報 2019-043

【出願番号】特願 2019-515976 (P2019-515976)

【国際特許分類】

C 0 8 L 23/08 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/32 (2006.01)

C 0 8 L 23/26 (2006.01)

C 0 8 F 8/46 (2006.01)

C 0 8 F 10/02 (2006.01)

C 0 8 F 4/625 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 23/08

B 3 2 B 27/00 D

B 3 2 B 27/32 1 0 1

C 0 8 L 23/26

C 0 8 F 8/46

C 0 8 F 10/02

C 0 8 F 4/625

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 3 年 10 月 18 日 (2021.10.18)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

多層構造において結合層として使用するための樹脂であって、前記樹脂が、

第 1 の組成物であって、少なくとも 1 つのエチレン系ポリマーを含み、 0.9 よりも大きい分子量モノマー分布インデックス (MWCDI)、および次の式： I_{10} / I_{20}
 $7.0 - 1.2 \times \log(I_{20})$ を満たすメルトインデックス比 (I_{10} / I_{20}) を含み、樹脂の 1 ~ 99 重量パーセントを構成する、第 1 の組成物と、

無水マレイン酸グラフト化ポリエチレンであって、無水マレイン酸グラフト化高密度ポリエチレン、無水マレイン酸グラフト化直鎖低密度ポリエチレン、無水マレイン酸グラフト化ポリエチレンエラストマー、またはそれらの組み合わせを含み、前記樹脂の 1 ~ 99 重量パーセントを構成する、無水マレイン酸グラフト化ポリエチレンと、を含む、樹脂。

【請求項 2】

ポリオレフィンエラストマーまたは無水マレイン酸グラフト化ポリオレフィンエラストマーをさらに含む、請求項 1 に記載の樹脂。

【請求項 3】

前記樹脂が、80 ~ 95 重量パーセントの前記第 1 の組成物と、5 ~ 20 重量パーセントの前記無水マレイン酸グラフト化ポリエチレンと、を含む、請求項 1 または 2 に記載の樹脂。

【請求項 4】

前記第 1 の組成物が、 10.0 以下の分子量モノマー分布インデックス (MWCDI)を有する、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の樹脂。

【請求項 5】

前記第 1 の組成物が、 $1.2 \sim 3.0$ のゼロ切断粘度比 (ZSVR 値)、 9.2 以下のメルトインデックス比 I_{10}/I_2 、および / または $1,000,000$ 個の総炭素数あたり 10 個のビニルを超えるビニル不飽和レベル、のうちの 1 つ以上を有する、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の樹脂。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の樹脂から形成されるペレット。

【請求項 7】

少なくとも 3 つの層を含む、多層構造であって、各層が、対向する表面を有し、かつ A / B / C の順序で配列されており、

層 A が、ポリエチレンを含み、

層 B が、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の樹脂を含み、層 B の上表面が、層 A の底表面と接着接触しており、

層 C が、ポリアミド、エチレンビニルアルコール、またはそれらの組み合わせを含み、層 C の上表面が、層 B の底表面と接着接触している、多層構造。

【請求項 8】

層 B が、前記多層構造の全厚の少なくとも 2.5% を構成する、請求項 7 に記載の多層構造。

【請求項 9】

層 B が、ASTM D 1709 (方法 A) に従って測定したときに、前記多層構造の正規化ダート衝撃値の少なくとも 2 倍の前記正規化ダート衝撃値を示し、層 B が、ASTM D 5748 に従って測定したときに、前記多層構造の正規化突刺強度値よりも高い前記正規化突刺強度値を示す、請求項 7 ~ 8 のいずれか一項に記載の多層構造。

【請求項 10】

請求項 7 ~ 9 のいずれか一項に記載の多層構造から形成される物品。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0119

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0119】

本明細書で使用される「オレフィン系ポリマー」という用語は、重合形態で、(ポリマーの重量に基づいて)過半量のオレフィンモノマー、例えばエチレンまたはプロピレンを含み、場合によっては、少なくとも 1 つの重合モノマーを含むことができるポリマーを指す。